

## 横浜ダンスコレクションEX (エックス) 2014 コンペティション 受賞振付家決定!

2014 年 2 月 4 日(火)～9 日(日)に行われました横浜ダンスコレクション EX2014 コンペティション I「作品部門」及びコンペティション II「新人振付家部門」の受賞者が決定しました!

※コンペティション I 及びコンペティション II とともに、今後の活躍が期待される振付家に「奨励賞」が贈られました。

### コンペティション I (作品部門) 10カ国 152組、ファイナリスト3カ国 12組

賞 名	受賞者名 / 受賞作品名	年 齢(2013 年 7 月 21 日時点) / 出身地
審査員賞	<b>キム・ボラ</b> 「A long talk to oneself」	31 歳/韓国出身
若手振付家のための 在日フランス大使館賞	<b>クオン・リョンウン</b> 「The Skill for me」	31 歳/韓国出身
MASDANZA 賞	<b>三東瑠璃</b> 「ESQUISSE」	31 歳/東京都出身
Touchpoint Art Foundation 賞 奨励賞	<b>キム・ボラム</b> 「Mistake」	30 歳/韓国出身
奨励賞	<b>井上大輔</b> 「百年の身体 リ・クリエーションズ」	29 歳/東京都出身

### コンペティション II (新人振付家部門) 応募組数34組、ファイナリスト14組

賞 名	受賞者名 / 受賞作品名	年 齢 / 出身地・居住地
最優秀新人賞	<b>中村 駿</b> 「古き悪き慢性固執シンドローム-日本人編-」	21 歳/埼玉県出身
奨励賞	<b>水越 朋</b> 「あいまいな沈黙」	24 歳/神奈川県出身
奨励賞	<b>岡元 ひかる</b> 「砂の嘴」	21 歳/兵庫県出身

### テルアビブ-ヤッフォ・横浜文化交流賞 コンペティション I 及び II より選出

賞 名	受賞者名 / 受賞作品名	年 齢 / 出身地・居住地
テルアビブ-ヤッフォ 横浜文化交流賞	<b>多田汐里・赤川純一</b> 「Figure」	29 歳/山形県出身 28 歳/茨城県出身
	<b>ファン・レイ</b> 「Lost Track」	36 歳/中国出身

## 受賞振付家プロフィール



キム ボラ

### Kim Bora【審査員賞】

韓国芸術総合学校で修士号取得。

受賞歴は2012年11月ソウル国際振付フェスティバルで大賞受賞、2013年3月 ダンスビジョン2013で最優秀ダンサー賞受賞。本作品“A long talk to oneself”は2012年 6月ポクロビテリユ・フェスティバル(スロベニア)、2012年11月ソウル国際振付フェスティバル、2013年 2月福岡ダンス・フリンジ・フェスティバル(日本)、2013年3月PDCダンス・フェスティバル(フィンランド)において発表。



クォン リョン ウン

### Kwon Ryoung eun【若手振付家のための在日フランス大使館賞】

韓国芸術総合学校で振付を学び、2008年から自作の振付を開始。処女作の“CoCo”が第2回ソウルダンスコレクション 2008で大賞を受賞した。2010年のヤング・コレオグラファー・フェスティバルに“The most longest”でエントリーし、最優秀振付家賞を受賞。2012年に自らのダンスグループ、〈サロン・ド・ニナノ〉を設立。2011-2012年に韓国文化芸術委員会から奨学金も授与されている。2012年に韓国舞台芸術センター(Hanpac)主催の若手振付家クラスに参加し、修了後の2013年に“花、私、若者への手紙”を発表。



みとう るり

### 三東 瑠璃【MASDANZA 賞】

2004-2010年〈Leni-Basso〉のメンバーとして2004年からの全ての作品に出演。2009年韓日ダンスフェスティバルに参加。2010年横浜ダンスコレクションR審査員賞受賞。

台湾のInternational Yang Choreographer Projectで振付。2012年北村明子作品“To Belong”に出演。2013年ミュージカル“100万回生きたねこ”に出演。高知県立美術館アーティスト・イン・レジデンス事業にてDarren Johnstonと作品制作。平原慎太郎作品に出演。

Jerusalem's international choreographers competition 1位受賞。

©BOZZO

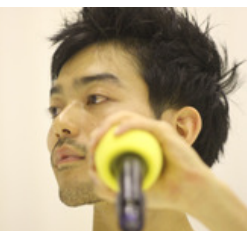


キム ボラム

### Kim Boram【Touch point Art Foundation 賞/コンペティション I 奨励賞】

韓国生まれ。通常とは異なるルートでコンテンポラリー・ダンスの世界に入った経歴を持つ。バックダンサーとして10年間活動する中で、ダンスが観客に語りかける方法に関心を持つようになり、自ら振付を手がけるようになった。2007年に〈アンビギュアス・ダンス・カンパニー〉を設立。自身にとって振付とは、内面に抱える不安に対してストーリーや答えを与え、実存的かつ本質的に表出するものである。音楽とダンスの調和を目指すと同時に、音楽とダンスのつながりの原点に立ち戻ることを目指し、観客との親密なコミュニケーションを図りながら、音楽以前の音そのもの、ダンス以前の身体運動を追求している。

©KIM Boram

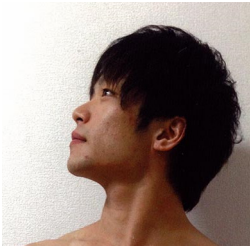


いのうえ だいすけ

### 井上 大輔【コンペティション I 奨励賞】

83年生まれ。桜美林大学卒業。〈21世紀ゲバゲバ舞踊団〉所属。大学より木佐貫邦子に師事し、バレエを三浦太紀に学ぶ。卒業後、伊藤キム主宰〈輝く未来〉で活動。退団後はソロダンスを中心に活動し1作目がSTスポットにてラポアワードを受賞。またそれまで発表してきたソロをデュオ・トリオに再構築して発表するなど自己の表現者としての修練に励む。

©FUKUI Ribun

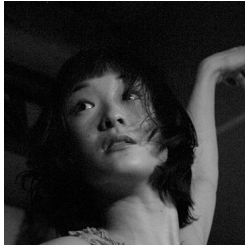


©MIURA Kentaro

なかむら しゅん

**中村 駿【最優秀新人賞】**

1992年に春日部市に生まれ、サッカーをこよなく愛する少年に育つ。2007年にコンテンポラリーダンスと出会い、現在も続けている。大東文化大学モダンダンス部に所属しながら、黒須育海率いるカンパニー<リコウボウ>にてダンスに精進している。また、歌川翔太と共に新しいダンスの発見に努めている。



© YOSHIKAWA Masakazu

みずこし とも

**水越 朋【コンペティションⅡ奨励賞】**

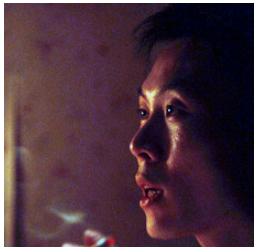
神奈川県平塚市出身。海と山に抱かれ、田畑に囲まれるのびのび育つ。桜美林大学在学時より木佐貫邦子に師事。これまでに笠井叡、笠井瑞丈、北尾亘などの作品に出演。自身での創作も行い、2013年1月に初のソロ作品を発表。2010年より三味線とのセッションでの創作を続け、即興性の強い実験的な試みをコンスタントに発表している。



おかもと

**岡元 ひかる【コンペティションⅡ奨励賞】**

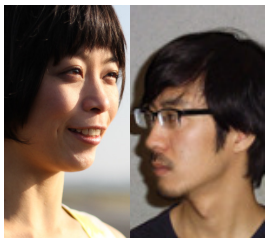
1991年生まれ。幼少より、<波多野澄子バレエ研究所>にてクラシックバレエを続け、深川秀夫振付作品に多数出演。2010年、神戸大学発達科学部人間表現学科に入学し、コンテンポラリーダンスに出会う。関典子に師事。兵庫県洋舞家協会主催「洋舞スプリングコンサート」にて過去2回自作自演作品を発表する。「Artistic Movement in Toyama 2012」少人数による創作ダンスコンクール松本千代栄賞受賞。



ファン レイ

**Huang Lei【テルアビブ-ヤッフォ・横浜文化交流賞】**

グッド・ダンス・センターの共同ディレクター。広西大学コンピューター科学部を卒業後、北京ダンスアカデミーで修士号を取得。2011年に米国・フォード財団から奨学金を得て、2013年に香港演芸学院でMFAを取得。これまでに10のモダンダンス・ガラを開催。さまざまな国際文化イベントに参加してきた。2010年にはデンマークの<マンコピー・ダンス・カンパニー>の芸術監督であるイェンス・ビエルレガードとのコラボレーションで“NOW”を制作。2012年に第1回広西モダンダンスフェスティバルを開催した。自身のユニークな作品にさまざまな演劇的要素を巧みに取り入れている。代表作として“Spring,”“リウサンジェのミステリアスな事件”“センシユアル・シンフォニー”“M-cident.”。



©ITOH Megumi(左)

©AKAGAWA Junichi(右)

ただ しおり あかがわ じゅんいち

**多田 汐里/赤川 純一【テルアビブ-ヤッフォ・横浜文化交流賞】**

ダンサー多田汐里、映像音響作家赤川純一のユニットで身体・映像・音楽の3要素を基調として制作活動を行っている。これまでに“Figure”“Long Slow Distance”を発表している。“Figure”は2012年9月 Theaterhaus Berlinの初演後、ベルリンのACUD theater、HAU1において公演を重ねる。

お問い合わせ先

横浜赤レンガ倉庫1号館 館長 菅原 幸子

横浜赤レンガ倉庫1号館 担当：中祖 杏奈/ 天野 静香

Tel 045-211-1515